

行政経営会議の内容

件名	大和市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第9期）について
所管部	健康福祉部
日時・場所	令和5年10月25日（水） 9：50 ～ 10：15 研修室
出席者	市長、副市長、教育長、市長室長、政策部長、総務部長、市民経済部長、環境施設農政部長、健康福祉部長、こども部長、文化スポーツ部長、街づくり施設部長、病院事務局長、教育部長、消防長、人生100年推進課長、介護保険課長、健康づくり推進課長
提出理由	令和6年度～8年度を計画期間とした大和市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第9期）の策定にあたり、骨子案の内容について了承を得るため
会議経過	<p>【主な意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第9期計画策定のための実態調査によって把握した本市の特徴や、調査結果で計画に反映したものはあるか。 （所管部）「介護保険制度をよりよくするための対策」についての要介護認定者の回答結果において、「特別養護老人ホームなどの入所施設の増設」を挙げた人の比率は、前回調査時に1位から2位となり、今回の調査では前回よりもさらに比率が下がっている。このように、施設入所を希望する方の比率は調査を行う度に低下している一方、1位と3位に挙げられている、在宅介護における内容の充実については、希望者の比率が上昇している。在宅介護に関することの中でも、医療との連携や24時間対応の介護を望む声が増加していることが今期の調査結果の特徴である。 ・本計画では「高齢者」という表現が多く使われているが、本市では「70歳代を高齢者と言わない都市 やまと」宣言をしているため、本計画における「高齢者」が何歳以上の方を指すのか分かりにくいと考えられるが、どのように整理しているのか。 （所管部）国の指針等も踏まえて策定している計画であることから、「高齢者」の年齢は国の定義に沿って65歳以上としている。地域説明会等を通じて丁寧に説明を行っていく。 ・現行計画の基本目標は2つだが、次期計画では施策の方向性を示す3つの基本目標を設定しており、分かりやすいものとなった。また、実態調査では在宅介護を希望する方が増えていることから、転換期と言える計画だと感じる。
会議結果	案のとおり、進めていく。